

2026 年 8 月 3 日

経済産業省

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構



## 世界の産学官リーダーが集結。気候変動対策やエネルギー安全保障の最前線を議論する「ICEF2026」10月に東京で開催

未来を変えるテクノロジーの力とは？地球を守る革新的なイノベーションと、持続可能な社会の姿を展望。

2026 年 10 月 8 日（木）、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下 NEDO）の主催による国際会議「Innovation for Cool Earth Forum 第 13 回年次総会（以下 ICEF2026）」を、ウェスティンホテル東京で開催します。

ICEF は、地球温暖化対策の鍵となる「イノベーション」をテーマに、世界各国の産学官リーダーが一堂に会して議論を交わすプラットフォームです。本フォーラムでは現在、世界中から広く参加者を募っています。専門家たちが繰り広げる議論と、気候変動対策やエネルギー安全保障の最前線を、ぜひ会場で体感ください。



## 「ICEF2026」について

開催 13 回目となる本年のメインテーマは【「エレクトロステート」への移行と安全保障を通じた GX（グリーントランスフォーメーション）】です。

エネルギー安全保障とエネルギー・トランジションに向けた各国の方向性は、資源、産業構造、技術、政策の違いを反映し、決まった方向性はありません。

一つの考え方として、化石燃料資源を軸とする戦略をとる「ペトロステート（石油国家）」と呼べる国もあれば、電化技術を中心とした戦略で「エレクトロステート（電化国家）」へ移行しつつある国もあります。しかし実際には、多くの国が電化と従来のエネルギー源の継続利用を組み合わせた、ハイブリッドな形態をとっています。

同時に、ホルムズ海峡をめぐる情勢などを受け、各国はエネルギー安全保障戦略を見直し、エネルギーシステムの強靱性（レジリエンス）を強化しようとしています。こうした状況下において、例えば、電化は、脱炭素、産業競争力、そしてエネルギー安全保障の実現に向けた方向性の一つです。IEA が発表した World Energy Outlook 2025 でも「Age of Electricity（電気の時代）」が到来し、電化の動きが急速に加速していることが言及されています。

ICEF2026 では、現実的かつ地域特性に応じた移行の道筋の必要性を踏まえつつ、一つの可能性として、低炭素電源を用いた電力がどのように「グリーントランスフォーメーション（GX）」や「エネルギーの多角化」に貢献するのか、各分野との関係の中で議論をしていきます。

## プログラム

| 10月8日（木） 9:00-18:10 ウェスティンホテル東京                                                                                                                        |                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| A会場（B2F）                                                                                                                                               | B会場（B2F）                                               |
| 9:00-9:15<br>開会式                                                                                                                                       |                                                        |
| 9:20-10:50<br>プレナリー1<br>キーノートセッション                                                                                                                     |                                                        |
| 11:00-12:00<br>セッション A-1<br>EV普及と地域成長戦略（仮題）                                                                                                            |                                                        |
| 13:00-14:00<br>セッション A-2<br>先進原子炉（仮題）                                                                                                                  | 13:00-14:00<br>セッション B-1<br>データ連携による強靱な循環型バリューチェーンの構築  |
| 14:10-15:40<br>セッション A-3<br>デジタル時代のエネルギー安全保障：地上の系統最適化と宇宙データセンターの可能性<br>パート1<br>デジタルと電力をつなぐ戦略インフラ：次世代データセンターの役割<br>パート2<br>ICEF ロードマップ プロジェクト：宇宙データセンター | 14:10-15:10<br>セッション B-2<br>期待先行から市場形成へ：低排水素の供給を実需につなぐ |
| 15:50-17:20<br>プレナリー2<br>安全保障、柔軟性、強靱性を備えた電力システムへ（仮題）                                                                                                   |                                                        |
| 17:25-18:10<br>閉会式                                                                                                                                     |                                                        |

詳細は公式 HP をご確認ください。

【ICEF2026 公式 HP】 <https://www.icef.go.jp/jp/program/>

※プログラムと登壇者は予告なく変更する可能性がございます。

## 開催概要

《会議名》 Innovation for Cool Earth Forum 第13回年次総会（ICEF2026）

《主催》 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

《開催日》 2026年10月8日（木）

《場所》 ウェスティンホテル東京（住所：東京都目黒区三田1-4-1）（オンラインとのハイブリッド開催）

《言語》 英語（日英同時通訳あり）

《参加登録費用》 無料（事前登録制 ※席に限りがございます）

《公式 HP》 <https://www.icef.go.jp/jp/>

《後援》 国際エネルギー機関（IEA）、BloombergNEF、国際連合工業開発機関（UNIDO）、国際再生可能エネルギー機関（IRENA）

## お問い合わせ先

ICEF2026 事務局／株式会社ファースト 広報担当

〔E-mail〕 [icef-media@mail.obo.bz](mailto:icef-media@mail.obo.bz)